西武鉄道 NEWS RELEASE

２０２６年4月２１日

～「はたらく人を、ほほえむ人へ。」～

酷暑下で働く社員の熱中症等予防のため
キャンピングカーを用いた移動式休憩所を導入！

✓「酷暑日」が設定される今夏の労働環境を改善！
✓酷暑下の鉄道現場において、快適な休憩所を確保します！

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：小川 周一郎）では、酷暑期の現場での熱中症対策として、キャンピングカーを用いた移動式休憩所を今春から導入しました。

鉄道係員は、保線作業や施設管理等において屋外での作業が多くあります。線路上での作業では日影が少なく、これから夏を迎えるにあたり、さらに厳しい環境下での作業となります。また西武秩父線などの山岳区間を走行するエリアを持つ当社では、係員が休憩できる場所が多くないという課題もありました。

このような状況のなか、キャンピングカーを活用した移動式休憩所を設けることで、屋外作業であっても快適性が担保されるのではないかという社員からの提案があり、２０２５年夏に約１か月間トライアル導入を実施しました。その結果、係員より「夏場の暑い時期に快適に休憩ができる」「休憩場所まで移動が不要なので作業効率が上がる」といった肯定的な声が上がったことから導入を決定いたしました。この導入は鉄道会社において珍しい取り組みとなります。

西武グループでは「はたらく人を、ほほえむ人へ。」をスローガンとする「西武グループ人財戦略」を策定し、働く施設環境の整備を進めてまいりました。今後も酷暑期および厳冬期などの厳しい環境で働く社員に快適な休憩環境を提供することで、熱中症などの労働災害の防止や作業の質の向上に繋げてまいります。





１．移動式休憩所について

車　　種：コルドバンクス　4.11(TOYOTA CAMROAD)（定員６名）
車内設備：冷蔵庫、エアコン、ヒーター、電子レンジ、トイレ、など
想定用途：・酷暑時、厳冬期の現場休憩場所
・夜間作業時の各種待機場所（集合時間・初電確認までの待機場所）
・数日にわたる現場調査・夜間作業の拠点（打合せスペースなど）
・各種イベント時の受付機能、待機場所
・有事の際に活用（台風・強風等の風水害対応、降雪時の警戒対応）









２．西武鉄道のその他の熱中症対策

西武鉄道では移動式休憩所の導入のほか、さまざまな熱中症対策を行っております。


熱中症対策ウォッチ

①熱中症対策ウォッチの導入

作業中の作業者の深部体温の変化をリアルタイムで推定し、体温の上昇をアラートで知らせてくれます。２０２４年7月より導入し、技術系現業係員約６５０人が着用（２０２５年度現在）しています。

実際に使用している技術系係員からは、「暑さの厳しい場所でも、体調の変化を自分で感じる前にアラートで知らせてもらえるため、熱中症対策に役立っている」との声が寄せられています。

②デジタルデバイスの利活用

熱中症の自覚症状のある者、熱中症のおそれがある係員を見つけた者がいつでも躊躇なく申告できるよう、デジタルデバイスを活用した報告ができる体制を整えています。

◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL．０５７０-００５-７１２

［営業時間　９：００～１７：００（１２/３０～１/３を除く）］

以　上